

環境経営レポート

対象期間(令和4年1月1日～令和4年12月31日)

目 次

1. 組織の概要等
2. 対象範囲
3. 環境経営方針
4. 環境経営目標
5. 環境経営目標(原単位)
6. 環境経営計画
7. 環境経営目標の実績
8. 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容
9. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価結果並びに違反、訴訟等の有無
10. 総括(代表者による評価と見直し・指示)
11. その他安全運転関係

発行日:令和5年4月1日(第13版)

株式会社ジオメイク

1. 組織の概要等

1) 組織の概要

(1) 事業所名及び代表者名

株式会社ジオメイク
代表取締役 川村 豊

(2) 所在地

本 社 大阪府大阪市淀川区田川北二丁目4番10号
十三営業所 同 上
高槻支店 大阪府高槻市井尻二丁目30番6号

(3) 環境管理責任者氏名・担当者連絡先

責任者 高槻支店 川村 護 TEL:072-669-0921
担当者 高槻支店 川村 護 TEL:072-669-0921

(4) 事業の内容

一般廃棄物収集運搬、産業廃棄物収集運搬、道路・浄化槽・貯水槽
清掃作業等の請負

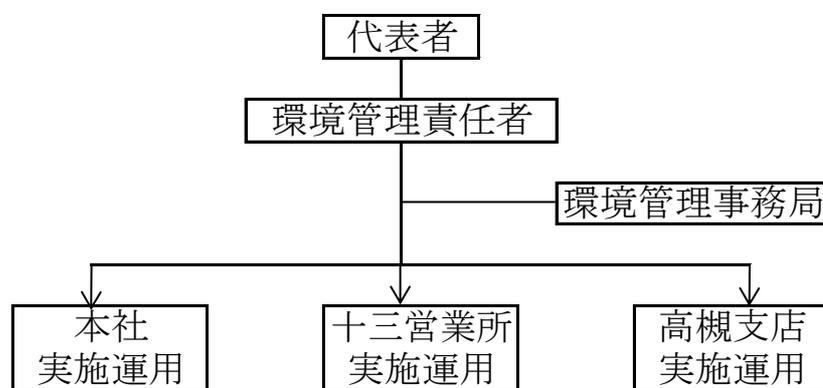
(5) 資本金

1,000万円

(6) 売上高（令和4年12月）

1,108百万円

(7) 組織図



(8) 法人設立年月日

昭和45年 3月31日

2) 許可・登録の内容

① 大阪市一般廃棄物収集運搬業

許可番号 : 第 030045 号
許可年月日 : 令和4年 4月 1日
許可の有効年月日 : 令和6年 3月31日

② 大阪府産業廃棄物収集運搬業

許可番号 : 第 02700018134 号
許可年月日 : 令和元年 5月26日
許可の有効年月日 : 令和 6年 5月25日
事業の区分 : 積替え・保管を含まない

廃棄物の種類 : 1 燃え殻 6 廃プラスチック類 11 ゴムくず
2 汚泥 7 紙くず 12 金属くず
3 廃油 8 木くず 13 ガラスくず
4 廃酸 9 繊維くず 14 鋳さい
5 廃アルカリ 10 動植物性残渣 15 がれき類
以上15種類

③ 兵庫県産業廃棄物収集運搬業

許可番号 : 第 02803018134 号
許可年月日 : 令和3年 1月22日
許可の有効年月日 : 令和 8年 1月21日
事業の区分 : 積替え・保管を含まない

廃棄物の種類 : 1 汚泥 6 紙くず 11 金属くず
2 廃油 7 木くず 12 ガラスくず
3 廃酸 8 繊維くず 13 がれき類
4 廃アルカリ 9 動植物性残渣
5 廃プラスチック類 10 ゴムくず
以上13種類

④ 高槻市一般廃棄物収集運搬業

許可番号 : 106U106
許可年月日 : 令和4年 4月 1日
許可の有効年月日 : 令和6年 3月31日
事業の区分 : 浄化槽汚泥・し尿

⑤ 高槻市浄化槽清掃業

許可番号 : 106J106
許可年月日 : 令和4年 4月 1日
許可の有効年月日 : 令和6年 3月31日

⑥ 大阪府浄化槽保守点検業者登録

登録番号 : 大阪府(8)第60-99号
登録年月日 : 令和2年12月 3日
登録の有効年月日 : 令和7年12月12日

⑦ 高槻市浄化槽保守点検業者登録

登録番号 : 高槻市(4)第20-16号
登録年月日 : 令和2年11月24日
登録の有効年月日 : 令和7年12月12日

⑧ 大阪府建築物飲料水貯水槽清掃業者登録

登録番号 : 大阪府29貯第10-84号
登録年月日 : 平成29年 6月16日
登録の有効年月日 : 令和5年 6月15日

3) 事業の規模・施設等の状況

	本 社	十三営業所	高槻支店
従業員数	5名	43名	31名
延べ床面積	672.23㎡	同左	435.59㎡
敷地面積	1308.10㎡	同左	294.21㎡

保有車両の種類ごとの台数(台)

種類		本社	十三営業所	高槻支店
パッカー車	5t	—	1	—
	4t	—	6	—
	3t	—	9	13
	2t	—	3	—
ハキューム車	4t	—	—	1
	2t	—	—	3
ダンプ車	4t	—	3	—
	2t	—	1	1
道路清掃車		—	2	—
4t散水車		—	2	—
4tコンテナ車		—	2	—
2tパワーゲート車		—	1	—
軽自動車		1	1	4
営業・乗用車		10	—	1

2. 対象範囲

- ① 対象組織は全社で次のとおり
 本社・十三営業所
 高槻支店

- ② 活動は当社事業のすべてで次のとおり

一般廃棄物収集運搬、産業廃棄物収集運搬、道路・浄化槽・貯水槽
 清掃作業等の請負

5) 処理実績(令和4年度)

処理量： 一般廃棄物 30,181t
 産業廃棄物 16,028t
 浄化槽汚泥 2,371t
 し尿・汚泥 1,593t

3. 環境経営方針

美しい環境を守るため-----わたしたちができること

株式会社ジオメイク

環境理念

世界的な共通課題である環境保全に取り組むためまた、経済・環境及び社会的な観点でSDGsに取り組むため一般廃棄物・産業廃棄物収集運搬業を事業母体とした当社では「エコアクション21」に基づく環境マネジメントシステムを構築し、環境負荷の軽減に努め未来に繋ぐ生活環境を、継続改善して行く為に循環型社会の推進に寄与します。

基本方針

環境保全を考慮した活動を踏まえ、当社は以下の項目を重点課題として取り組み、限りある資源を大切にしていきます。

- ① 燃料・電気の使用量を効率的に利用し二酸化炭素排出量の削減。
- ② 水・ガス・紙などの資源節減の推進と廃棄物リサイクルの向上。
- ③ 顧客での廃棄物分別化の貢献。
- ④ 近隣に対する環境コミュニケーションの推進。
- ⑤ 環境関連法規制等の遵守。
- ⑥ グリーン購入の推進。

当社は、環境教育を通じて従業員にこの環境経営方針を周知徹底させると共に、知識や認識を高め環境保全活動の向上に努めます。

この環境経営方針は内外に向けて公表します。

制定日：2010年 7月 1日

改定日：2023年4月1日

株式会社ジオメイク
代表取締役 川村 豊

4. 環境経営目標

平成30年度を基準年度として、全社及び支店ごとの総量目標は次のとおりです。
また、PRTR法対象となる化学物質は使用していません。

全社【本社・十三営業所、高槻支店】CO2排出係数:電力=0.318Kg-CO2/kWh ガソリン=2.32 軽油=2.58

項目	平成30年度 (1~12月)	令和2年度			令和3年度			令和4年度		
		削減率			削減率			削減率		
単位	全社	全社	本社・十三営業所	高槻支店	全社	本社・十三営業所	高槻支店	全社	本社・十三営業所	高槻支店
二酸化炭素排出量 kg-CO2/年	745,485	701,574	507,256	194,319	694,415	502,080	192,336	687,256	496,903	190,353
		—	—	—	—	—	—	—	—	—
電力の使用量 kWh/年	94,683	92,789	51,351	41,438	91,843	50,827	41,015	90,896	50,303	40,593
	削減%	2%			3%			4%		
ガソリンの使用量 ℓ/年	16,697	16,363	9,640	6,723	16,196	9,542	6,654	16,029	9,444	6,586
	削減%	2%			3%			4%		
軽油の使用量 ℓ/年	250,793	245,777	181,613	64,165	243,269	179,759	63,510	240,761	177,906	62,855
	削減%	2%			3%			4%		
一般廃棄物排出量 kg/年	1,400	1,372		/	1,358		/	1,344		/
	削減%	2%			3%			4%		
水使用量 m ³ /年	5,957	5,838	2,945	2,893	5,778	2,915	2,863	5,719	2,885	2,834
	削減%	2.0%			3.0%			4.0%		
グリーン購入 エコ商品購入	75%以上	75%以上	/	/	75%以上	/	/	75%以上	/	/
顧客への環境貢献	年5回	年5回	/	/	年5回	/	/	年5回	/	/

※電力のCO2排出係数は、関西電力の2019年度実績調整後排出係数

※基準値を全体的に見直して、平成30年度実績値を基準値に変更した

5. 環境経営目標(二酸化炭素にかかる原単位目標)

令和2年度を基準年度として、二酸化炭素にかかる原単位目標は次のとおりです。

全社【本社・十三営業所、高槻支店】

項目	令和2年度 (1~12月)	令和3年度~令和7年度(5年間は基準年度値と同じとする)		
		令和2年度値以下を維持		
単位	全社	全社	本社・十三営業所	高槻支店
電力の使用量 kWh/人	1,131	1,131	1,193	1,055
kg-CO2/人	360	360	380	335
ガソリンの使用量 L/t	0.39	0.39	全社として目標設定している。	
kg-CO2/t	0.90	0.90		
軽油の使用量 L/t	7.17	7.17		
kg-CO2/t	18.50	18.50		

※二酸化炭素について、令和2年度実績値を基準として原単位目標を設定した。

原単位指標:電力⇒従業員数(人) ガソリン・軽油⇒収集運搬量(t)

6. 環境経営計画

環境経営目標を達成するために本社・十三営業所及び高槻支店で次の環境経営計画に取り組みました。

(令和4年1月～令和4年12月)

環境経営目標	環境経営計画	本社 十三営業所	高槻支店
1. CO2削減 ①電力消費量削減	不要時の消灯	○	○
	エアコン運転停止時の電源オフ	○	○
	エアコンの温度管理の徹底	○	○
②ガソリン・軽油消費量の削減	車両の点検整備の徹底	○	○
	アイドリングストップ	○	○
	エコドライブの徹底	○	○
2. 廃棄物排出量の削減	廃棄物分別の徹底	○	○
	不用紙の裏面等利用	○	○
3. 水道使用量の削減	洗濯・洗車時の節水の徹底	○	○
	手洗い時の節水の徹底	○	○
4. グリーン購入	エコマーク商品の率先使用	○	○
5. 環境配慮活動	顧客への分別の啓発	○	○

7. 環境経営目標の実績

(1) 令和4年度の環境経営目標に対する数値実績は、下記のとおりでした。
【本社・十三営業所、高槻支店】

項目	全社及び支店ごとの環境経営目標の実績と評価								
	全社			本社・十三営業所			高槻支店		
	目標	実績	評価	目標	実績	評価	目標	実績	評価
電力の使用量 kWh/年	90,896	80,806	○	50,303	52,047	×	40,593	28,759	○
ガソリンの使用量 L/年	16,029	8,613	○	9,444	5,783	○	6,586	2,830	○
軽油の使用量L/年	240,761	268,479	×	177,906	206,936	×	62,855	61,544	○
CO2合計 Kg-CO2/年	687,256	738,355	×	496,903	563,861	×	190,353	174,494	○
一般廃棄物排出量Kg/年	1,344	1,430	×	1,344	1,430	×	—	—	—
水使用量 m ³ /年	5,719	5,951	×	2,885	3,675	×	2,834	2,276	○
グリーン購入	75%以上	75%以上	○	75%以上	75%以上	○			
エコ商品購入									
顧客への環境貢献	年5回	年5回	○	年5回	年5回	○			

○:目標達成 ×:目標未達成

(2) 令和4年度の二酸化炭素にかかる原単位実績は、下記のとおりでした。

項目	全社及び本社・十三営業所、支店ごとの原単位目標の実績と評価								
	全社			本社・十三営業所			高槻支店		
	目標	実績	評価	目標	実績	評価	目標	実績	評価
電力の使用量 kWh/人	1,131	1,036	○	1,193	1,107	○	1,055	928	○
ガソリンの使用量 L/t	0.39	0.18	○	全社評価としている					
軽油の使用量L/t	7.17	5.53	○						

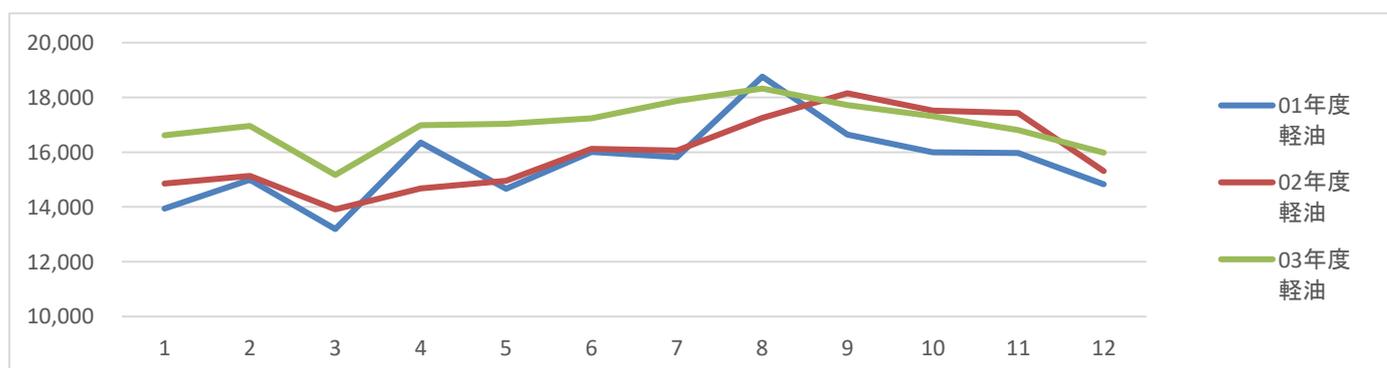
原単位では全社で二酸化炭素目標が達成できた。

(3) 目標未達成の主な要因

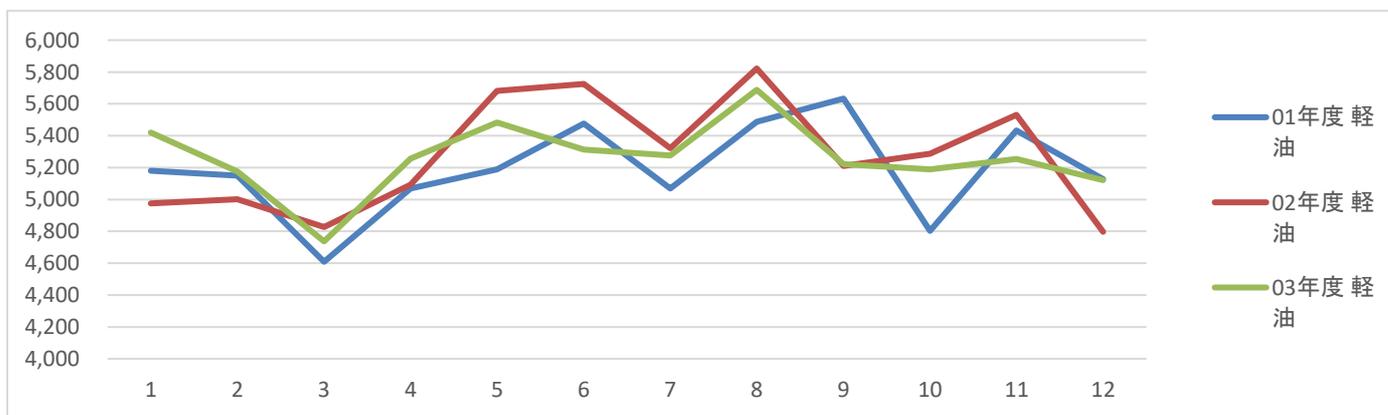
- ① 十三営業所で電力量の超過
 業務の過多による、事務職 及び 現場リーダーの残業が多かったため
- ② 本社・十三営業所での一般廃棄物排出量の増加
 必要最低限の排出量の為。人員が昨年度と変わらない為。
- ③ 本社・十三営業所での軽油使用量の増加
 遠隔地の臨時作業が多かったため。
- ④ 本社・十三営業所での水使用量の増加
 常に車輛を綺麗にすることを義務付けており、洗車量が増加した事と
 コロナ禍に伴い、感染予防の為、全現場作業員が、風呂に入って帰宅する為。

(4) 軽油経年使用量

① 本社・十三営業所



② 高槻支店



8. 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

環境経営計画の取組結果と評価は次のとおりで次年度に向けても全ての項目に取り組んでいきます。

(令和4年1月～令和4年12月)

環境経営目標	環境経営計画	評価	今後の対応	次年度取組
1. CO2削減 ①電力消費量の削減	不要時の消灯	△	今後も継続実行が必要	実施
	エアコン停止時の電源オフ	△	今後も継続実行が必要	実施
	エアコンの温度管理の徹底	○	今後も継続実行が必要	実施
②ガソリン・軽油消費量の削減	車両の点検整備の徹底	○	今後も継続実行が必要	実施
	アイドリングストップ	○	今後も継続実行が必要	実施
	エコドライブの徹底	△	今後も継続実行が必要	実施
2. 廃棄物排出量の削減	廃棄物分別の徹底	○	今後も目標値を上げて	実施
	不用紙の裏面等利用	○	継続実行が必要	実施
3. 水道使用量の削減	入浴・洗濯・洗車時の節水	△	今後も継続実行が必要	実施
	手洗い時の節水の徹底	△	今後も継続実行が必要	実施
4. グリーン購入	エコマーク商品の率先使用	○	今後も継続実行が必要	実施
5. 環境配慮活動	顧客への分別の啓発	○	今後も継続実行が必要	実施

※評価 ○:良好 △:不十分 ×:未実施

9. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価結果

並びに違反、訴訟等の有無

環境関連法規への違反・訴訟はありません。なお、関係当局などからの違反等の指摘は過去3年間ありません。

当社に係る主要な環境関連法令

法令名	関係規定	当社対応	遵守確認
廃棄物処理法	処理業許可	許可証	遵守
浄化槽法	清掃業許可・登録	許可・登録証	遵守
悪臭防止法	敷地境界基準	脱臭機管理	遵守
NOx/PM法	廃ガス規制基準	ディーゼル車	遵守
フロン排出抑制法	業務用エアコンフロン	点検記録・廃棄時	遵守
道路交通法	運転基準	積載量のチェック	遵守
消防法	消火器設置	消火器	遵守

10. 総括(代表者による評価と見直し・指示)

環境負荷に対する見直しを行い、基準値を平成30年度に設定しなおし削減目標も新基準で行ったが、十三営業所では業務量が年々増加傾向にある為、昨年は達成できても本年達成出来ていない項目があった。

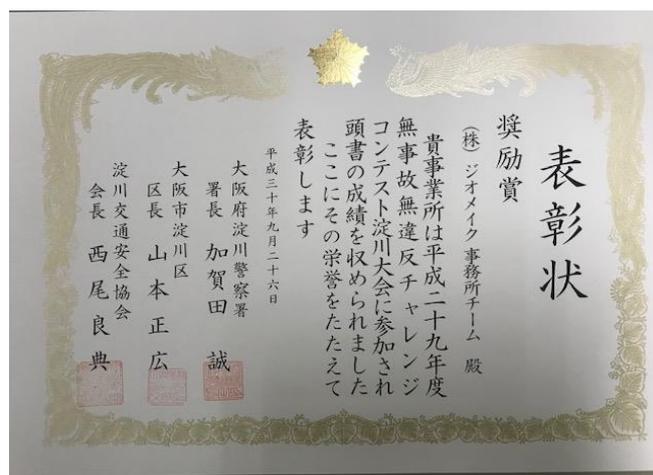
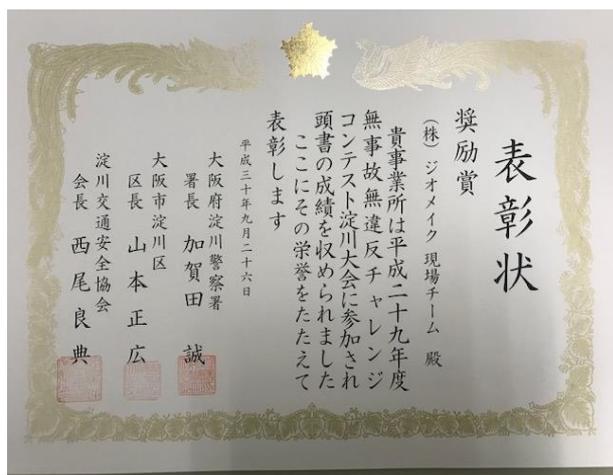
事業拡大を念頭に経営を行っている為、無理なく継続的に可能な事を一人一人に実践をさせて行きたい。

二酸化炭素にかかる原単位実績に関してクリアできていることが、従業員の意識が僅かながらでも浸透していると考えて良いと思う。

なお、環境経営方針、目標、経営計画及び実施体制については変更せず継続する。

11.その他安全運転関係

本業以外にも弊社は、交通安全に寄与するため毎年チャレンジコンテストに参加しております。



また、毎月1日には地域活動の一環として会社周辺等を清掃しております。



十三・本社



高槻支店

※ 次回環境経営レポート作成予定時期:令和6年3月